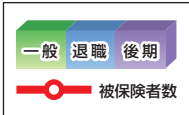
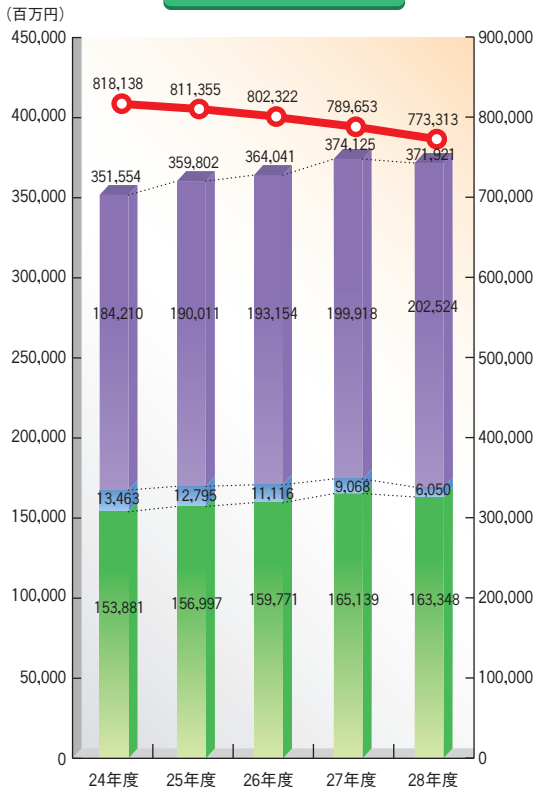


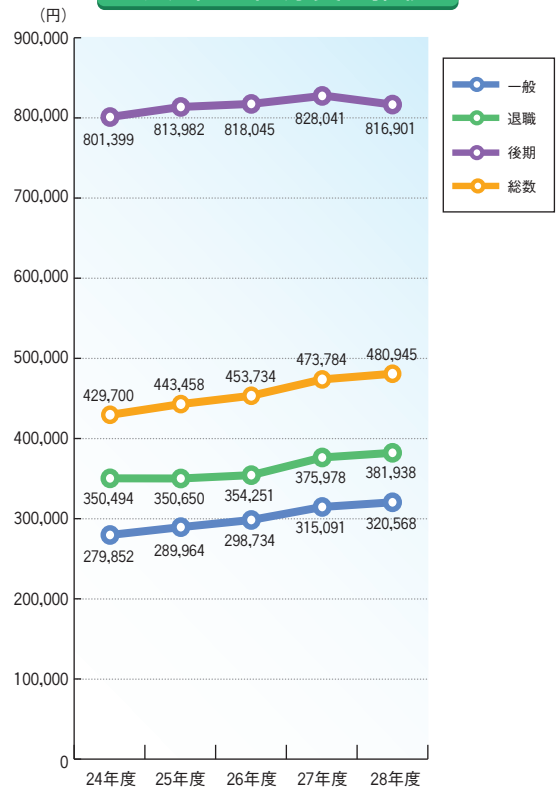
# 栃木県



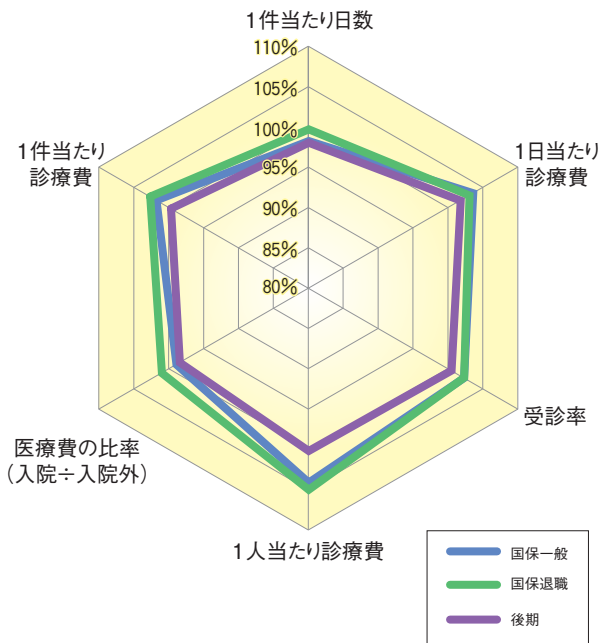
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

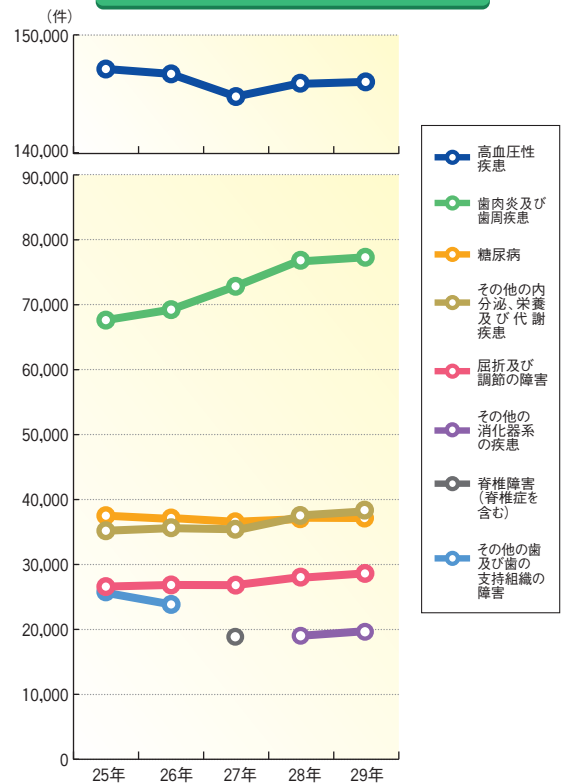


## 平成28年度 3要素と医療費諸費(前年度比)

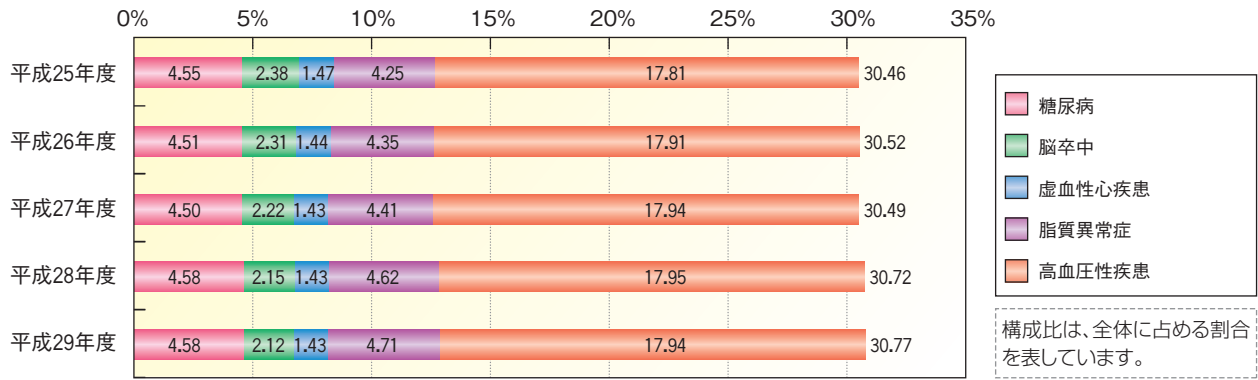


このグラフは、諸率を前年対比して得た値をレーダーチャートにしたものです。

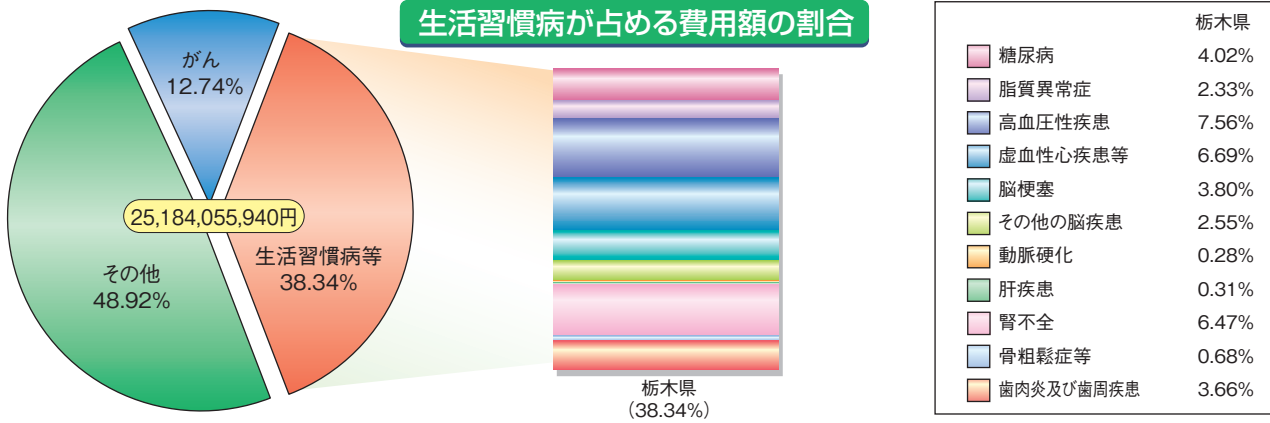
## 多受診疾病上位6位の推移



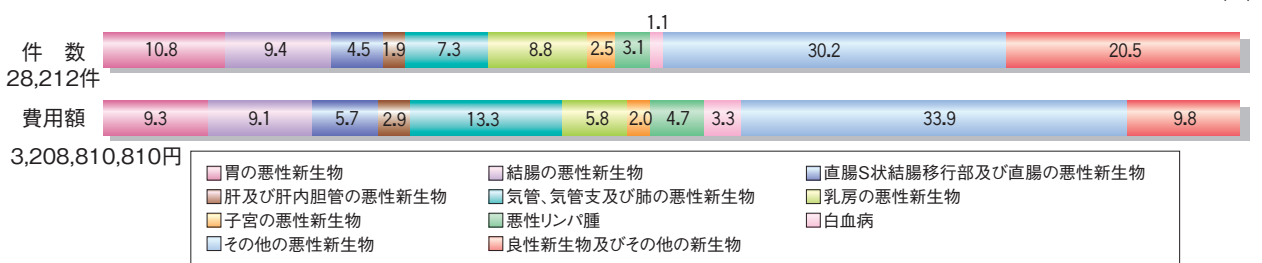
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 栃木県の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般163,347,702千円(98.9%)、退職6,049,522千円(66.7%)、後期202,524,024千円(101.3%)で、全体では371,921,248千円(99.4%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は773,313人(97.9%)で、内訳は一般509,557人(97.2%)、退職15,839人(65.7%)、後期247,917人(102.7%)である。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は480,945円(7,161円増)、一般は320,568円(5,477円増)、退職は381,938円(5,960円増)、後期は816,901円(11,140円減)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の前年度比のレーダーチャートを見ると、一般、退職、後期共に1件当たりの日数は減少しているが、1日当たり診療費及び1人当たり診療費、受診率は増加している。

### ★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の消化器系の疾患で、平成28年と比べて件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

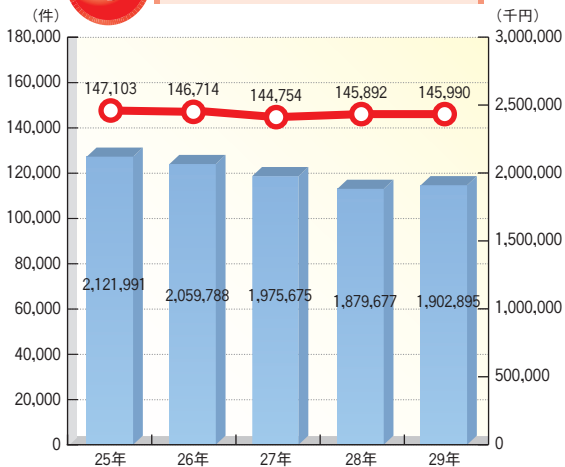
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、年々増加傾向にある脂質異常症が過去5年で最も高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が25,184,055,940円で、がんが12.74%、生活習慣病等が38.34%を占めている。生活習慣病等で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.56%、虚血性心疾患等6.69%、腎不全6.47%となっている。

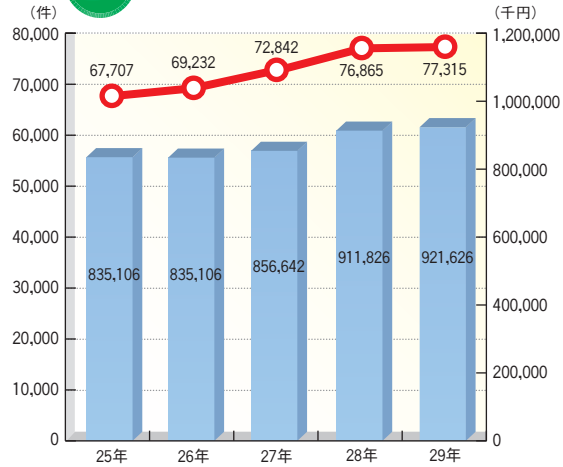
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6 の年次推移

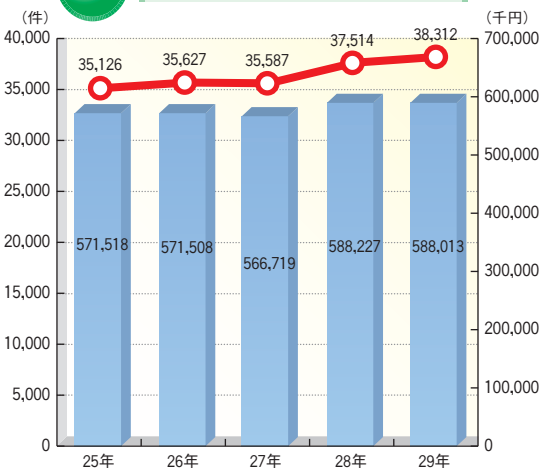
## 1位 高血圧性疾患



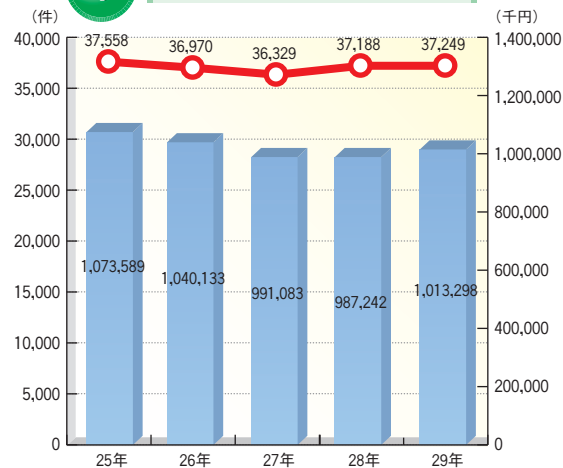
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



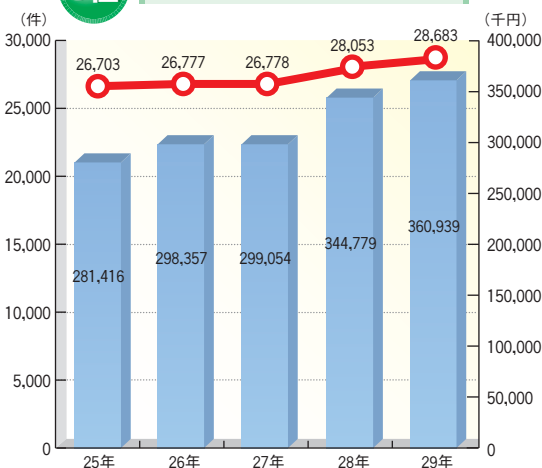
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



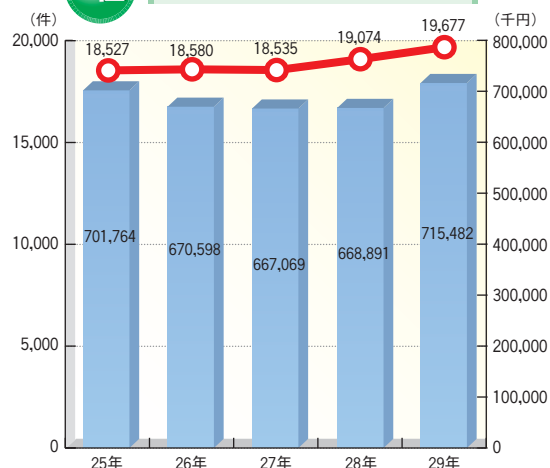
## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の消化器系の疾患



受診率と1人当たり診療費の相関図

